

かつて経済学部には山岳部があった

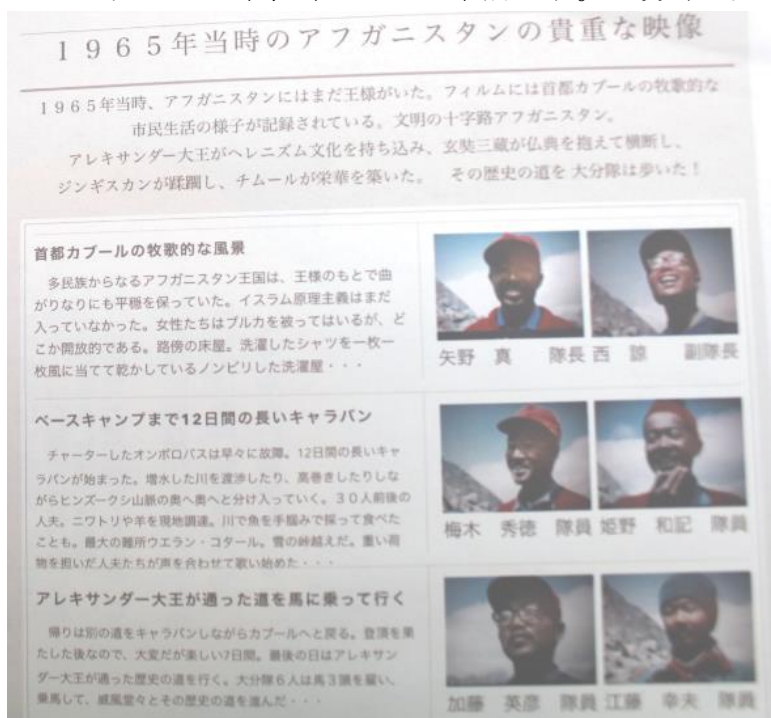
昭和40年、ヒンズークシ山脈の高峰コー・イ・モンディに日本人として初登頂した大分県登山隊を記録した8ミリ映像が大分県立図書館に寄贈されました。当時、大分大学山岳部員で遠征隊に参加した加藤英彦さん（大14・現日本山岳会東九州支部長）が保存されていたものです。尾登憲治さん（大22・元大分大学山岳部）がインタビュー・解説を加えて再編集したDVDとともに令和2年12月23日に加藤さんが宮迫敏郎館長に渡されました。

8ミリ映像は2年前の山水会例会で披露され、本年10月に開催された第6回自遊展ではDVD版が上映されて多くの山岳ファンが観賞しました。

12月21日の大分合同新聞には「大分隊の偉業後世に」と題してDVD化のことが加藤さん、尾登さんの写真と共にトップ記事で紹介されました。

昭和40年といえば東京オリンピックの翌年、今から55年前です。大分県民に自信と誇りを与えた遠征隊に大分大学山岳部が深くかかわっていました。その数年後、今度は尾登さんを隊長とする大分大学山岳部がニュージーランド遠征を果たしています。

なお、県立図書館には登頂を記録した「コー・イ・モンディ峰ヒンズークシ遠征隊報告書」も蔵書されています。



県立図書館でいつでも視聴することができます。四極会の皆さん、機会がありましたら報告書とともにご覧ください。